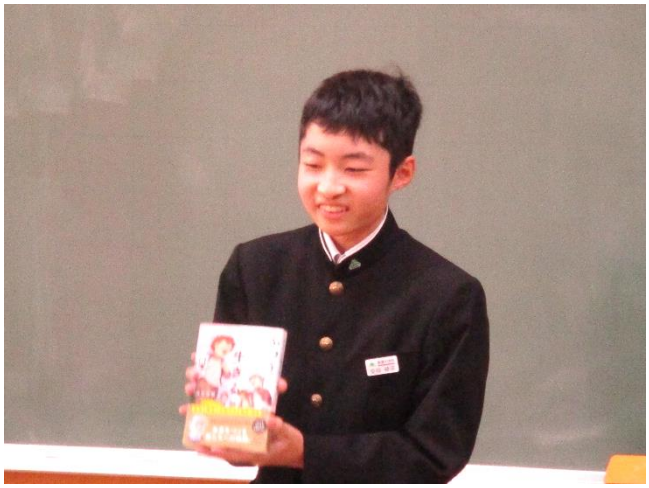
１１／１０　校長室より №316

　読書週間第２弾。昨日の放課後は「お薦め本の紹介」と「たっぷり読書」でした。まず、学芸委員が自分のお薦めする本をクラスメイトに向けて紹介しました。その後は、各自が読みたい本をじっくり読むという時間。教室内はシーンとして、ページをめくる音だけがかすかに聞こえるといった状態でした。

　今はゲームでもユーチューブのような動画でも、映像が目の前に表れるのでわかりやすいですが、想像力を働かせる余地はあまりありません。それに対し、本は文字だけなので自分で頭の中に映像を描き、想像力を働かせて読み進める必要があります。しかし、それが頭を鍛え心を豊かにするのには最高。

　いつでも読みかけの本が傍にあり、すき間時間など少しでも一日の内に本を読む時間を作るようにできれば素敵です。今回の読書週間が、そのきっかけになればうれしく思います。



発達障害